

令和5年度
自己点検・自己評価、及び学校関係者評価報告書

学校法人 順正学園
九州医療科学大学専門学校
(旧校名：九州保健福祉大学総合医療専門学校)

学校関係者評価委員

○ 学外委員(順不同)

- 小牟田 佐知子 様 : 本校学校関係者評価委員会 委員長
宮崎医療生活協同組合 看護介護統括部長
- 重永 康子 様 : 本校非常勤講師
元潤和会記念病院総看護師長兼財団本部介護看護部長
元熊本県立大学総合管理学部 准教授 他
- 岩部 仁 様 : 宮崎善仁会病院 統括看護部長
- 山田 光子 様 : 本校非常勤講師
医学博士(大阪大学)、薬剤師、臨床検査技師
元南九州大学園芸学部及び健康栄養学部 教授 他
- 高野 裕美 様 : 保護者代表 学校法人順正学園教育後援会 副会長
- 児玉 隆一 様 : 本校卒業生 訪問看護ステーション湯癒亭 看護師

○ 学校内委員

- 園田 徹 : 学校長
- 後藤 美樹 : 副校長
- 中村 明子 : 看護学科長
- 川島 香理 : 教務主任
- 藤井 章 : 事務長
- 小寺 秀樹 : 事務長代理
- 白神 良憲 : 事務室 課長

令和5年度自己点検・自己評価、及び学校関係者評価報告書

I. 本校の教育目標

1. 学修成果を目に見える形にし、学修者本位の教育を実践することで、看護師国家試験合格率及び入学定員充足率100%を維持する。
2. 広報戦略として組織的にパンフレットやホームページの再構成に取り組み、学科の魅力ある教育活動の発信に努める。
3. 退学者ゼロ及び県内就職率60%以上を目指す。
4. 新たな看護師養成カリキュラム（令和4年4月開始）に対応した教育の質向上を目指す。

II. 教育目標を実現するための行動指針と点検結果

1. 看護師国家試験は協力体制を整え全学年で対策を講じ合格率100%を維持する。

- 1) 学生が段階的、主体的に単位が習得できるよう各学年運営の指導計画を立案し実践する。
- 2) 教員各自が国家試験の出題傾向を踏まえた講義、実習指導を実践する。
- 3) 国家試験対策や臨地実習において学生が思考し評価修正していく力を引き出し、知識の定着を図る。
- 4) 教員間で情報共有を行い、学生の学力やモチベーションを見極め、時宜を得た対策を講じる

【点検結果】

学年ごとに指導案を立案し、教員一人一人が国家試験を考慮した講義、実習指導を実践した。また、成績下位の学生についての個別国家試験対策の実施、国試対策に参加できない学生への保護者を含んだメンタル面でのサポート等を実施したが、2名が不合格となり、合格率は96%（50人中48人）だった。全国平均87.8%を上回ったものの、目標の100%合格は達成できなかった。

2. 本校の魅力や強みを発信し入学定員充足率100%を維持する。

- 1) 事務室と連携し、学校紹介に繋がる行事やイベントに積極的に参加し高校生や保護者、実習施設、高校に本校の特色や魅力をPRする。
- 2) 地域の中で求められる人材を送り出すことで本校の社会的評価や信頼度を高め、入学希望者の増加に繋げていく。

【点検結果】

予定していた学校見学会の他にも、予約外の生徒及び保護者には9月の土曜日を中心に随時対応した。

また、看護協会でのイベントや高校説明会にも参加し、入学定員の確保に繋がるよう、事務室と連携し積極的にPRを行ったが、定員充足率は77%（定員60人に対して46人）にとどまった。

3. 学生の就学困難な兆候を見逃さず対応し成績不振による退学者ゼロを目指す。

- 1) 教員間で学生の必要な情報交換をすることにより学生の状況を把握し学生の心身の変化を見逃さず対応し、必要時、保護者を交えて面談し対策を講じる。
- 2) 看護に魅力を感じることができるよう、また看護師の資格取得に意欲が高まるように講義や実習を通し関わる。

- 3) 入学後の学修の不安や成績不振を改善するため、入学前教育を継続し入学後の指導に活かす。
- 4) 感染状況を考慮し、学習会やオリエンテーション等の学年を越え学生同士が交流できる機会を設け、学生生活のモチベーションの向上に繋げる。

【点検結果】

教員間で学生指導に必要な情報交換を行い、成績やメンタル面、生活面など、気になる学生には適宜声掛け、本人との面談、保護者への連絡および三者面談を実施した。学年を越えた学習会の実施を行い、学校生活や実習に対してのモチベーションが保てるように努力したが、本年度の退学者数は26名であった。成績不振そのものが理由の退学ではないが、看護の仕事内容への抵抗、対人関係、進路変更等理由は多岐にわたっている。

4. 県内就職率 60%を維持する。

- 1) 県内に就職した卒業生の状況や病院からの資料は優先的に掲示、伝達する。
- 2) 県内に就職した卒業生が来校した際は、在校生に病院や看護の魅力伝える機会を設ける。
- 3) 臨地実習の機会を活用し、看護部長・病棟師長・指導者などから看護の魅力や就職に繋がる病院情報を得る機会を積極的に設ける。
- 4) 宮崎県看護師等修学資金、県内の病院奨学金制度、宮崎大学医学部附属病院推薦採用枠などの活用について学生状況を見極めつつ勧めていく。

【点検結果】

県内の病院、施設の就職情報を掲示し、卒業生が来校した際は、在学学生に就職状況や看護師の魅力などについて話してもらい機会を設けた。宮崎県看護師等修学資金は2名、宮崎大学医学部附属病院への推薦枠に2名合格した。県内就職率は62%で目標を達成できた。

5. 新カリキュラムと連動した講義、演習、実習を実践し学生の知識・技術の向上を目指す。

- 1) 教育内容の精選・充実を図り、効果的に学ぶことができ看護の魅力を体感できるカリキュラムを実践する。
- 2) 事務局と連携し新カリキュラムに対応した学内の学修環境を整える。
- 3) 新カリキュラムと旧カリキュラムの各々で履修する学生が在学するため、学生の単位取得に不利益が生じないような体制を整える。

【点検結果】

3年生のみが旧カリキュラムで進行、1年生・2年生ともに滞りなく新カリキュラムを運営することができた。環境面においても、2年生教室のモニター設置が行われ、支障なく講義ができていた。休学後の学生が、新カリキュラムの学生と講義を受けるため、不利益を被らないように単位履修のための追加講義を設定し実施した。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

教職員が学生と真摯に向き合っている様子がわかった。
今後の学生募集については、看護現場でも同じことが言え、多様な学生を受け入れることに取り組むことが求められている。
学生への生活指導は多岐にわたって難しいが、看護師養成には不可欠なことである。

Ⅲ. 評価（評価項目の達成状況、及び今後の取り組みについて）

*評価点数 適切「4」、 ほぼ適切「3」、 やや不適切「2」、 不適切「1」

(1)教育理念・目標

	評価項目	自己点検	評価
1	学校の理念・目標・育成人材像は定められているか	4	4.0
2	学校における職業教育その他の教育指導等の特色は定められているか	4	
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想が示されているか	4	
4	学校の理念・目標・育成人材像・特色将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	
5	学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに沿って方向付けられているか	4	

【特記事項】

建学の理念、教育目標、3つのポリシー「アドミッションポリシー（求める学生像）、カリキュラムポリシー（教育課程編成の考え方）、ディプロマポリシー（卒業認定の方針）」を定めており、それらはホームページ（情報公開—教育課程の編成と実施方法—）で公開している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

(2)学校運営

	評価項目	自己点検	評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4.0
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか。有効に機能しているか	4	
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	
6	業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	4	
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	
8	情報システム等による業務の効率化が図られているか	4	

【特記事項】

年度毎の事業計画（学科部門・事務部門）を策定し、理事会に前年度の結果報告と、当該年度の目標を発表している。

各種規程は適切に運用しており、学内イントラネットシステムを利用して全教職員が条文を閲覧することが可能となっている。

教職員会議を毎月一回開催しており、合議制による学校の意思決定を担保している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

(3)教育活動

	評価項目	自己点検	評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4	4.0
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実践されているか	4	
5	関連分野の企業・関係施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習)が体系的に位置づけられているか	4	
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	
9	成績評価・単位評価、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保しているか	4	
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	

【特記事項】

学則により本校は、「教育基本法及び学校教育法並びに保健師助産師看護師法の本旨に則り、高度の専門知識と技能及び幅広い教養を兼備した優秀な看護師の養成し、地域の保健、医療の発展・向上に寄与する」ことを目的としている。

教育課程の編成においては、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインに準拠してカリキュラムを組んでいる。

また、本校履修規程、及び履修細則により、単位認定基準を定め、適正かつ厳正に学修評価を行っている。

その上で、学科会議、教職員会議において進級判定を行い、卒業については卒業判定会議を経て認めている。

教員資格は要件を満たした教員を確保し、教育体制を整えている。

個人研究費を有効活用し研修等への参加を奨励している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

(4)学修成果

	評価項目	自己点検	評価
1	就職率の向上が図られているか	4	3.5
2	資格取得率の向上が図られているか	3	
3	退学率の減少が図られているか	3	
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	
5	卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	

【特記事項】

就職率は100%を達成した。その内、宮崎県内就職率は67%で目標値に達成している。

国家試験に関しては、不合格者が2人いた。引き続き国試対策を徹底する。

退学者は昨年度の12人から26人に増加した。退学者を減らすためには、問題の早期発見、多様化する学生への個別対応の徹底が重要と考える。

在校生は、実習を通じて卒業生の社会的な活躍を知る機会を得ており、将来への具体的な展望を描いている。

学生の進学・就職に関する情報を「就職ガイダンス」を通して提供している。

学生一人ひとりにあったキャリア形成は、チューターが卒業まで支援している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

退学を減らすために先生たちが熱心にかかわっている。看護現場の立場からも看護の喜び、やりがいを伝えたい。

退学率の増加には、発想の転換を含めた努力が必要。

学生対応と指導に努力している。

就職については、非常に良好である。

病院以外にも看護師の活躍の場を望む。

(5)学生支援

	評価項目	自己点検	評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3.9
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	
7	保護者と適切に連携しているか	4	
8	卒業生への支援体制はあるか	4	
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	

【特記事項】

就職支援体制や相談に関する支援体制は十分に機能している。必要に応じて保護者面談を実施しており、連携できている。高校と連携して模擬講義を実施し、キャリア教育・職業教育の取組を行っている。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

社会人のニーズを踏まえた教育活動を行っている。
実習においては、身だしなみ、準備物の確認などの指導が必要。

(6)教育環境

	評価項目	自己点検	評価
1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3.7
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	
3	防災に対する体制は整備されているか	3	

【特記事項】

施設設備の整備は、年次計画を立てた上で実施している。

実習施設とは良好な関係を築いている。実習病院側の実習指導者講習会の受講状況は向上しており、実習生に有効で貴重な実習になっている。

防災については、法令に基づく機器備品の検査点検を専門業者の仲介により行っているが、避難訓練については、日程調整が出来ず実施しなかった。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

避難訓練が出来ない場合でも、教職員の初動訓練、防災設備の使用訓練などは必要。
防災への積極的な取り組みが必要。
避難訓練、防災指導は、工夫しながら行うこと。

(7)学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検	評価
1	学生募集活動は適正に行われているか	3	3.7
2	学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	4	
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	

【特記事項】

学生募集活動に積極的に取り組んだものの、2024年度の入学者数は定員満たない46人であった。国家試験の合格率が高いことは高く評価されているが、人口減少と看護大学志向の影響を被っている。

学納金については、近隣の医療看護系専門学校と比較しても妥当な額である。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

少子化で学生確保は難しい。社会人向けの広報活動など多様な学生の獲得も必要になる。
定員割れには社会情勢からみてもやむを得ない面がある。
社会人へのアプローチも必要。

(8)財務

	評価項目	自己点検	評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4.0
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	
4	財務情報公開の体制整備は適正に行われているか	4	

【特記事項】

財務における諸手続きは適正になされており、予算・収支計画については事業計画に対して適切に執行している。財務情報は本校のホームページに公開している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

(9)法令等の遵守

	評価項目	自己点検	評価
1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4	4.0
2	個人情報に関しその保護のための対策がとられているか	4	
3	自己点検・評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	
4	自己点検・評価を公開しているか	4	

【特記事項】

関係法令や設置基準を遵守し適正な運営をおこなっている。

個人情報保護規程（順正学園）により、個人情報の取得、利用、保管、取り扱いについて定めている。

毎年度、事業計画を立て、実行経緯と結果について自己点検・評価を行っている。また、自己点検の内容を学校関係者評価委員会が評価する制度を設けている。

自己点検報告書として、ホームページで公開している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

(10)社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3.4
2	学生のボランティア活動を奨励しているか	3	
3	地域に関する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	

【特記事項】

本校施設を開放した地域貢献は行っていないが、高校や専修学校各種学校連合会等から看護分野の出前授業等の依頼に対して積極的に対応している。

学生にはボランティア活動を奨励しているが、授業や実習に追われているため参加実績は少ないと思われる。統計をとっていない。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

ボランティア活動の意義を深く理解させている。